

株式会社 池田製機工業所

要望に応じて

1個からでも部品製作

納期
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

切削加工で様々な部品を一品から製造

業務
内容部品加工と設備組立の
2本柱

金属材料の部品加工と各種製造装置の組立作業が2本柱。池田敏幸社長は「他社が嫌がるような手間がかかる1個の仕事にも対応して、モノづくりの可能性を広げたい」と語る。主に切削加工で部品を製造、焼き入れ後の研磨仕上げや溶接構造の部品製作も行う。扱う材料も鉄、ステンレス、アルミ、伸銅と幅広い。組立は、電子部品メーカーや紙おむつメーカー向けの製造装置など幅広い分野の生産設備を手がける。装置全般からユニット、組み付けまで対応し、部品加工から組み立てまでの一貫体制で受注生産できる。

強み

図面のない部品も製作

加工部門では、1個からの小ロット対応を心がけている。「他社が嫌がるような手間がかかる仕事でも丁寧に対応し、お客さまに喜んでいただきたい」（池田社長）という考えのもと、顧客のさまざまな要望に応えるようにしている。壊れた部品や図面のない現物に基づいた部品の製作依頼にも対応している。受注は、リーマンショック後の激減以降、徐々に回復してきたが、まだ戻りきつてはいない。受注を増やしながらも価格競争に陥るのを防ぐため、あえて手間のかかる小ロット部品加工に的を絞る。小ロットの受注を端緒に大口への展開も狙う。

技能
伝承ベテラン職人の技術を
若手に

従業員は年齢構成は20歳代から60歳

代と幅広い。60歳以上の熟練技術者は5人おり、彼らの経験、知識を中堅、若手に伝えようとしている。技術者育成は外部の養成講座にも参加させているが、現場で仕事を実践しながらの伝承が中心となる。池田社長は「口で伝えることは難しいが、実際に加工をさせてベテランからアドバイスする泥臭い伝承を続けていく」という。

今後の
展望

オリジナル製品を開発

何か困ったことがあれば、同社に行けば解決できる。町の便利な鉄工所的な存在を心がける。小ロット品であってもスピーディーに対応して、顧客の信頼を獲得する。池田社長は「それを実現した上で、次の展開を考えたい」と語る。まずは仕事を増やした上で、例えば設計部門の新設などを進め、新たな展望を切り開く。まだ小さいが新たな芽も生まれてきた。バイク好きの従業員の発案で、狭い駐輪スペースでもバイクを置きやすくするオリジナル製品が生まれた。市場も小さく大々的に宣伝しているわけでもないが、同社ホームページに「北海道からアクセスがあった」（池田社長）という。顧客



本社

COMPANY PROFILE

株式会社池田製機工業所

大阪
25ISO 9001
ISO 14001当社の
歴史

大正4年に初代が現在地で池田鉄工所を創業し、メリヤス機械製造などに携わりました。昭和22年に会社設立し、現社名となり、大手電機メーカーの設備、部品、治具等の製造を開始しました。私は4代目社長として、取引先の拡大を図っています。

ものづくりの“ハイスピード化”に対応します！
町の便利な鉄工所！

代表取締役社長 池田 敏幸さん



■主な事業内容

金属材料の部品加工並びに製造装置（ユニットアッセンブリー含む）の組立作業

■主な取引先（納入先）

電子部品メーカー、紙おむつ製造機

住所／〒570-0037 守口市大枝北町12-15
TEL／06-6991-0401
FAX／06-6997-0962
創業／大正4年3月
設立／昭和22年9月
資本金／1,000万円
従業員／23名

<http://www.ikedaseiki.co.jp>